

平成28年度

第4回「医療通訳養成研修」の詳細

青森県立保健大学 川内規会

○研修目的

青森県内のボランティア通訳者や医療者を対象に、医療通訳に必要な「Ⅰ. 知識 Ⅱ. 技術 Ⅲ. 倫理」のそれぞれの基本的概念を知ってもらうことを目的とし、青森県の医療現場で活躍できるよう、医療通訳者を養成する研修を企画しました。特に、一般的な通訳業務と異なり医療という専門的な分野では、必要とされる力が語学力のみではないことを再確認し、実際の医療の現場で医療者と外国人患者の双方を助けられるように、医療の通訳業務が円滑に実践できる力をつけてもらうことがねらいです。

○研修対象

対象者：（青森県内の）医療従事者、ボランティア通訳者、通訳を経験したことがある人、
医療通訳に興味のある人

募集定員：20名程度（国籍は問いません）

○開催日時および会場

日時：2016年10月1日(土)・2日(日) 9:30~16:30 (12:00-13:00 昼食休憩)

場所：青森県立保健大学 A棟1階 A107

○研修内容

研修プログラム：

【1日目（10月1日）】

- 9:30~11:00 講義（川内）：日本の医療通訳について(現状と倫理的課題)、在留外国人の社会的背景
- 11:00~12:00 グループワーク（川内）：情報交換
- 12:00~13:00 昼食（休憩）
- 13:00~14:00 演習（川内）：通訳の心構え
- 14:00~16:30 演習（小笠原）：発話練習・医療現場のロールプレイⅠ

【2日目（10月2日）】

- 9:30~10:30 講義（川内）：青森県の医療現場の通訳事情
- 10:30~12:00 演習（小笠原）：医療現場のロールプレイⅡ
- 12:00~13:00 昼食（休憩）
- 13:00~15:00 演習（小笠原）：医療現場のロールプレイⅢ
- 15:30~16:30 グループワーク(川内)：体験の共有、今後の活動計画

※内容が変更になった場合はご了承ください。

研修講師：川内規会（青森県立保健大学准教授）

小笠原メリッサ（青森県立保健大学講師）

使用言語：講義はすべて日本語で行われます。演習のみ英語で行われます。

○その他

1. 両日ともお昼をはさみますので、昼食をご持参ください。
(近くにコンビニはございます。)
2. 駐車場はご利用できます。
3. 参加費は無料です。

○過去の研修風景

